



平成24年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年7月11日

上場会社名 株式会社ダイセキ環境ソリューション 上場取引所 東・名 各一部
 コード番号 1712 URL <http://www.daiseki-eco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二宮 利彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画管理本部長 (氏名) 村上 実 (TEL)052(611)6350
 四半期報告書提出予定日 平成23年7月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第1四半期の業績(平成23年3月1日~平成23年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第1四半期	1,794	64.6	95	-	91	-	56	-
23年2月期第1四半期	1,089	38.3	2	98.8	2	-	2	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第1四半期	935.88	-
23年2月期第1四半期	38.9	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第1四半期	7,072	4,737	66.9	79,137 63
23年2月期	6,811	4,679	68.6	78,148 45

(参考)自己資本 24月期第1四半期 4,737百万円 23年2月期 4,679百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	-	0.00	-	400	400
24年2月期	-	-	-	-	-
24年2月期(予想)	-	0.00	-	400	400

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年2月期の業績予想(平成23年3月1日~平成24年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,916	26.1	126	368.5	119	476.7	70	769.5	1,169.33
通期	6,000	14.7	315	146.7	300	105.0	177	295.1	2,956.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3 「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年2月期1Q	59,863株	23年2月期	59,863株
期末自己株式数	0株	23年2月期	0株
期中平均株式数(四半期累計)	59,863株	23年2月期1Q	59,863株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、[添付資料] P. 3 「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」を参照ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、新興国を中心とした海外経済の回復や米国景気減速懸念の後退により輸出が持ち直し、企業収益の改善など景況感の改善の兆しが見え始めておりました。しかしながら、本年3月11日に発生した東日本大震災は電力供給や物流網をはじめとする社会インフラに深刻な打撃を与え、日本経済は先行き不透明な状況となりました。

当社の業績に大きな影響を及ぼす不動産市況においても、不動産開発の停滞や民間設備投資の手控え等厳しい状況は続いておりますが、年明け以降関東圏を中心にやや明るさが出てきたところであります。今般の東日本大震災による影響は未知数であり、不確実な要素はありますが、概ね緩やかな回復傾向を辿っていると思われま

す。

このような背景のもと、土壌汚染調査・処理事業を大きな柱に据え、リサイクル分野や環境分析分野への展開も積極的に進めてまいりました。

その結果、当第1四半期会計期間の売上高は1,794百万円(前年同四半期比64.6%増)と大幅な増収となりました。また、引き続き広範囲にわたる原価低減を進めてまいりました結果、利益面では営業利益95百万円(同4,282.5%増)、経常利益91百万円(前年同四半期は経常損失2百万円)、四半期純利益56百万円(前年同四半期は四半期純損失2百万円)と大幅増益となりました。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(土壌汚染調査・処理事業)

部分的かつ限定的な動きではありますが、不動産市況の若干の回復を下支えとし、営業体制の強化及びグループ会社間の連携強化による情報収集の強化等、新たな需要の開拓に注力してまいりました結果、売上高1,746百万円、営業利益157百万円となりました。

(その他)

廃バッテリー等の荷動きが堅調に推移したことにより、売上高48百万円、営業利益18百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は2,105百万円となり、前事業年度末に比べ230百万円の増加となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加218百万円であります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は4,910百万円となり、前事業年度末に比べ25百万円の減少となりました。主な要因は減価償却等による有形固定資産の減少45百万円、繰延資産の減少16百万円及び差額評価金の増加による投資有価証券の増加45百万円であります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は1,871百万円となり、前事業年度末に比べ184百万円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加72百万円及び未払法人税等の増加61百万円であります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は407百万円となり、前事業年度末に比べ38百万円の減少となりました。主な要因は、長期借入金の減少42百万円であります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は4,737百万円となり、前事業年度末に比べ59百万円の増加となりました。主な要因は、四半期純利益56百万円、その他有価証券評価差額金の増加27百万円及び剰余金の配当23百万円であります。

キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間におけるキャッシュ・フローにつきましては、内部留保資金の充実を大前提としつつ、事業の安定的拡大に必要な投資を実行してまいりました。

その結果、現金及び現金同等物の当第1四半期会計期間末残高は406百万円(前事業年度末比78百万円増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、主に売上債権の増加額213百万円があったものの、税引前四半期純利益91百万円、仕入債務の増加額76百万円、減価償却費61百万円等により、総額で53百万円の収入(前年同四半期比42.1%減)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出20百万円があったものの、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入100百万円等により、総額で88百万円の収入(前年同四半期は25百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出42百万円及び配当金の支払額20百万円により総額で63百万円の支出(前年同四半期比56.2%減)となりました。

(3)業績予想に関する定性的情報

平成23年4月13日付「平成23年2月期決算短信(非連結)」にて発表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1)簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2)会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成23年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	406,616	328,370
受取手形及び売掛金	1,449,767	1,231,514
たな卸資産	74,242	55,568
その他	180,654	265,155
貸倒引当金	6,187	6,187
流動資産合計	2,105,093	1,874,421
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	997,466	1,021,459
土地	2,743,504	2,743,504
その他(純額)	628,436	650,302
有形固定資産合計	4,369,406	4,415,266
無形固定資産	11,850	12,676
投資その他の資産	529,527	508,773
固定資産合計	4,910,784	4,936,715
資産合計	7,015,877	6,811,137
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	502,688	430,016
短期借入金	1,120,148	1,120,148
未払法人税等	61,360	-
引当金	3,851	26,671
その他	183,356	110,097
流動負債合計	1,871,404	1,686,933
固定負債		
長期借入金	310,575	353,112
引当金	94,213	90,622
その他	2,268	2,268
固定負債合計	407,056	446,002
負債合計	2,278,461	2,132,936

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成23年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,446,921	1,446,921
資本剰余金	1,242,433	1,242,433
利益剰余金	2,027,107	1,995,028
株主資本合計	4,716,462	4,684,382
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20,953	6,181
評価・換算差額等合計	20,953	6,181
純資産合計	4,737,416	4,678,200
負債純資産合計	7,015,877	6,811,137

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)
売上高	1,089,920	1,794,648
売上原価	931,261	1,536,975
売上総利益	158,658	257,672
販売費及び一般管理費	156,488	162,574
営業利益	2,169	95,098
営業外収益		
受取利息	145	388
受取地代家賃	2,275	2,304
その他	365	875
営業外収益合計	2,786	3,567
営業外費用		
支払利息	2,666	2,312
固定資産賃貸費用	4,519	4,442
その他	9	250
営業外費用合計	7,196	7,004
経常利益又は経常損失()	2,239	91,660
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失()	2,239	91,660
法人税、住民税及び事業税	10,086	58,837
法人税等調整額	9,996	23,201
法人税等合計	89	35,635
四半期純利益又は四半期純損失()	2,329	56,024

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 ()	2,239	91,660
減価償却費	74,604	61,474
賞与引当金の増減額(は減少)	22,364	22,820
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,362	2,204
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	2,086	1,386
受取利息及び受取配当金	145	388
支払利息	2,666	2,312
売上債権の増減額(は増加)	68,523	213,184
たな卸資産の増減額(は増加)	43,732	18,673
仕入債務の増減額(は減少)	22,696	76,997
その他	14,584	79,614
小計	160,114	60,583
利息及び配当金の受取額	142	387
利息の支払額	2,930	2,275
法人税等の支払額	64,754	5,145
営業活動によるキャッシュ・フロー	92,572	53,549
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による 収入	-	100,000
有形固定資産の取得による支出	22,364	20,236
有形固定資産の売却による収入	80,736	1,443
貸付けによる支出	80,000	-
貸付金の回収による収入	87	7,187
その他	4,082	282
投資活動によるキャッシュ・フロー	25,623	88,110
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	83,207	42,537
配当金の支払額	61,673	20,877
財務活動によるキャッシュ・フロー	144,880	63,414
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	77,931	78,246
現金及び現金同等物の期首残高	582,356	328,370
現金及び現金同等物の四半期末残高	504,424	406,616

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業全体の大部分を占める「土壌汚染調査・処理事業」を報告セグメントとしております。「土壌汚染調査・処理事業」は、土壌汚染の調査から浄化処理まで一貫して請負い、営業活動を含めた事業活動を一体的に行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期会計期間(自平成23年3月1日至平成23年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期損益 計算書計上額 (注)3
	土壌汚染調査・ 処理事業				
売上高					
外部顧客への売上高	1,746,506	48,141	1,794,648	-	1,794,648
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	31,398	31,398	31,398	-
計	1,746,506	79,540	1,826,046	31,398	1,794,648
セグメント利益	157,240	18,180	175,421	80,323	95,098

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル、環境分析、不動産賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期会計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
土壌汚染調査・処理事業	1,772,336	-
その他	35,423	-
合計	1,807,760	-

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第1四半期会計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
土壌汚染調査・処理事業	2,196,628	-	1,491,104	-
その他	37,187	-	389	-
合計	2,233,815	-	1,491,493	-

(注) 上記の金額には、消費税は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
土壌汚染調査・処理事業	1,746,506	-
その他	48,141	-
合計	1,794,648	-

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第1四半期会計期間		当第1四半期会計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
㈱オキ・コーポレーション	140	0.0	504,269	28.0

3 上記の金額には、消費税は含まれておりません。